

# 教育長報告

## 1 報告事項

平成17年第1回沖縄県議会(2月定例会)における質問・答弁概要について

## 2 事項の説明

○ 平成17年2月15日に開会した平成17年第1回沖縄県議会(2月定例会)における代表質問、一般質問において主に次のような質問等があった。

### 主な質問事項

- (1) 教育基本法の改正について：小渡亨、渡嘉敷喜代子、糸洲朝則、嘉陽宗儀
- (2) 若年者の雇用対策及び就職内定率について：小渡亨、当山全弘
- (3) ゆとり教育の見直しについて：伊波常洋、當山眞市、狩俣信子、國場幸之助、  
照屋守之、新垣良俊
- (4) 学校給食の食材について：伊波常洋、渡嘉敷喜代子
- (5) 小学校英語教育特区について：糸洲朝則
- (6) 県立高等学校の再編作業の現状について：糸洲朝則
- (7) 進路指導のあり方について：糸洲朝則
- (8) 総合的な学習の時間について：嶺井光
- (9) 児童生徒の学力二極化について：當山眞市、瑞慶覧朝義
- (10) 体罰、わいせつ教員の処分について：當山眞市
- (11) 学校現場の安全対策について：當山眞市、瑞慶覧朝義、狩俣信子、前島明男、金城勉、  
新垣良俊
- (12) 平和教育について：吉田勝廣
- (13) 達成度テストの結果、大学入試センター試験について：吉田勝廣、狩俣信子
- (14) 高校生のミニスカートについて：吉田勝廣
- (15) 命の教育について：吉田勝廣
- (16) 義務教育費国庫負担金について：瑞慶覧朝義
- (17) 心の教育、「心のノート」について：瑞慶覧朝義、國場幸之助
- (18) 県立高等学校の授業料未納及び授業料減免について：瑞慶覧朝義、前田政明
- (19) 県立高等学校の入学金に対する減免措置制度：瑞慶覧朝義
- (20) 2学期制について：狩俣信子
- (21) 児童・生徒の下校時安全確保について：狩俣信子、前島明男
- (22) 休憩時間の実態について：狩俣信子
- (23) 教職員の多忙化問題について：奥平一夫
- (24) 教職員評価制度について：奥平一夫、嘉陽宗儀

- (25) 就学援助制度の充実について：前田政明
- (26) 省エネ運動について：玉城義和
- (27) ちゅらさん運動について：當間盛夫
- (28) 伝統・文化の継承について：呉屋宏
- (29) 教育長の2年間の取り組みと教育の課題について：赤嶺昇
- (30) 国連の役割と沖縄誘致について：前島明男
- (31) 少人数学級について：嶺井光
- (32) 少年の非行防止対策について：嶺井光、新垣良俊
- (33) 史跡整備保存事業の充実について：嶺井光
- (34) 養護学校への助成・支援について：安次富修
- (35) 全国高校総体の会場地と水泳プールについて：池間淳

このうち、「ゆとり教育の見直しについて」「総合的な学習の時間について」「学校現場の安全対策について」「高校生のミニスカートについて」「教職員評価制度について」についての答弁要旨は、次のとおりです。

#### ゆとり教育の見直しについて

質問要旨： ゆとり教育の見直し議論が高まってきている背景に何があると考えるか。

答弁要旨： いわゆるゆとり教育は、受験教育偏重の学校教育から、人間中心の教育に改善するための「ゆとりと充実の教育」として始まりました。

現行の学習指導要領は、子どもの時間的なゆとりとしての学校週5日制、教育活動のゆとりとしての総合的な学習の時間の導入などにより、児童生徒一人一人の個性を生かし、自ら学び自ら考える力を培うことをねらいとしております。

今、問われている「ゆとり教育」の見直しについては、学習指導要領のねらい達成の視点から論議されているものと理解しております。

なお、本県においては、総合的な学習の時間等において、地域の特性を生かした取り組みや、個々の生徒に応じた指導がなされていると考えております。

#### 総合的な学習の時間について

質問要旨： 総合的な学習の時間を効果的に実施するための県の考えを伺いたい。

答弁要旨： 総合的な学習の時間においては、一人一人の児童生徒が、自分自身の地域からテーマを見出し、調査し、問題を解決していく力を育てることが大切であると考えております。

その推進においては、職員の協力体制と家庭や地域等との連携を図ることが最も重要になります。

そのため、学校では、その地域のよさを理解し、そのよさをどのように教育活動として具現化するかについて全職員で共通理解を図り、取り組んでいるところ

であります。

また、県教育委員会では、研究校を指定し、地域理解に基づく指導計画や学習マップ、人材リストなどの研究成果の共有化を図っているところであります。

#### 学校現場の安全対策について

質問要旨： 安全対策について大阪の事件後に改めて安全確認をしたかどうか伺いたい。

答弁要旨： 学校の安全確保は学校内の取り組みだけでは厳しい状況にあり、「公共の場は、公共の目で守る」という視点から、警察本部等関係機関と緊急連絡会を開催し、学校、警察、地域が一体となった安全確保の取り組みの強化を確認いたしました。

また、県立学校及び各市町村教育委員会等に対し、不審者侵入等に備えた防犯体制の再点検を行うとともに、地域の警察や関係団体に要請して、学校周辺のパトロールや防犯訓練など、安全対策の強化に努めるよう依頼いたしました。

#### 高校生のミニスカートについて

質問要旨： 小さい規則でも守らせる指導をすることが大切。具体的対策が必要だと考えるが、どうか。

答弁要旨： 日頃から地域の大人との関わりの強い高校においては、制服に関しては問題になっておりません。また、生徒自らが服装検査を行ったり、キャンペーンを実施するなど、改善しつつある学校もあります。

このようなことから制服の問題は、生徒自らの問題として捉え、考えさせること。個々の生徒理解を深めること。社会における生徒の自己存在感を持たせること。などが課題解決への道だと考えております。

新年度は、新入生や保護者に対しまして、制服を含め規則を守ることの大切さを周知徹底してまいりたいと考えております。

#### 教職員評価制度について

質問要旨： 教職員評価システムは勤務評定であり、差別と分裂を持ち込まないか。

答弁要旨： 教職員評価システムは、教職員個人の人的評価を行うものではなく、個々の教職員の自主性を尊重し、教職員と校長、教頭などの双方で職務遂行の実績やその過程、努力等を面談により確認し合い、それに基づいて業績の評価を行い、教職員の自己職能を伸ばしていくものであります。

本システムの実施は、教職員の資質向上を図りながら、管理職と教職員間の相互理解を深め、校内での教職員相互のサポート体制を充実させ、幼児児童生徒の教育効果を高めるために必要であると考えております。

○ 予算特別委員会において以下の審議が行われた。

甲第 1 号議案 平成 17 年度沖縄県一般会計予算（教育委員会所管）：原案可決（多数）

甲第 25 号議案 平成 16 年度沖縄県一般会計補正予算（第 3 号）：原案可決

○ 文教厚生委員会において以下の条例及び陳情の審議が行われた。

条例 3 件

1 平成 16 年第 6 回議会 乙第 17 号議案

沖縄県立高等学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例

（原案可決）

2 乙第 27 号議案 沖縄県学校職員定数条例の一部を改正する条例

（原案可決）

3 乙第 28 号議案 沖縄県立奥武山総合運動場の設置及び管理に関する条例（原案可決）

陳情新規 4 件

陳情第 157 号 与那国町の海底遺跡認定に関する陳情（継続審議）

陳情第 176 号 「県立中部工業高等学校」の校名存続を求める陳情（継続審議）

陳情第 184 号 「教育基本法の理念を生かすことを求める」国への意見書採択に関する陳情（継続審議）

陳情第 194 号 「空手の日」宣言決議に関する陳情（採 択）

○ 米軍基地関係特別委員会において以下の陳情の審議が行われた

「名護市辺野古沖のボーリング調査について」

○ 少子・高齢対策特別委員会において以下の内容が審議された

「沖縄県次世代育成支援行動計画について」